

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	評価責任者 (基本施策主管課長)	スポーツ振興課長 松本 和久
-------	----	----------------------	---------------------	-------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 改 策	意 欲 生 涯 を 通 じ て 生 き が い が 持 て る ま ち つ くり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>満足度については、現行の事業が市民ニーズにおおよそ応えられているものと考えている。 また、必要度については、スポーツの性質上、市民生活になくはならないものと捕らえ難いのではないかと考えられる。 いずれの数値も、昨年度調査より若干ではあるが低下していることから、「スポーツは健康で明るい生活を送るための重要な手段である」ということをあらゆる機会を捉えて啓発していく必要がある。</p>
③	基本施策の 現状と課題	<p>①マラソン大会は参加者が増加しているが、市民スポーツフェスティバルについては参加者拡大に向けた取り組みを充実させる必要がある。</p> <p>②青少年を含むスポーツ人口の拡大と青少年の健全育成並びに競技力の向上のため取組みを強化する必要がある。</p> <p>③スポーツ人口の底辺拡大のため、市民ニーズの高い教室を開催するとともに体育指導委員の資質向上が必要である。</p> <p>④総合型地域スポーツクラブの育成支援が必要である。</p> <p>⑤ゆめが丘多目的広場の人工芝化のために財源確保と地元の理解を得る必要がある。</p>
④	基本施策の意図、 今後の展望	<p>子どもからお年寄りまで気軽にスポーツを楽しむ環境づくりを目指す。</p> <p>そのために、①スポーツイベント参加者の拡大、②スポーツ人口の拡大と青少年の健全育成並びに競技力の向上、③スポーツ教室の充実と体育指導委員の資質向上、④総合型地域スポーツクラブへの支援、⑤安心してスポーツを楽しむため人工芝化の財源確保等を実施したい。</p>

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	I D	事 業 名	改善余地 の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	887-1	スポーツ活動振興事業	無	28,536	27,658	27,658	2
2	887-2	体育スポーツ活動推進・育成事業	無	26,660	26,160	26,160	3
3	888	スポーツ教室等の開催事業	無	18,103	17,558	17,558	4
4	889	総合型地域スポーツクラブ支援事業	無	4,680	3,870	3,870	5
5	2340	ゆめが丘芝生広場改修工事	無	0	0	120,990	1
6							
7							
8							
9							
10							
（ 以下 続紙 ）							
事業費 合計				77,979	75,246	196,236	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興するため、スポーツ人口の拡大を目指して3つの指標を設定した。スポーツ・レクリエーション施設利用者数については、市民ニーズが高いゆめが丘多目的広場の人工芝化を目指し気軽かつ安心して安全な施設を提供することにより利用者数のさらなる伸びを期待している。
2 事業構成の適当性 (手段として最適か?)	施設を整備し、教室開催により競技人口の底辺の拡大を図り、スポーツイベントを開催することによりスポーツ振興に寄与することから事業構成は有効である。
3 役割分担の妥当性	スポーツイベントは実行委員会を組織しており、体育協会・体育指導委員・自治組織・行政等が役割を分担して運営に当たっている。
4 総合評価 (今後の展開、事業の見直し等)	スポーツ振興計画の基本目標である「スポーツのある豊かな暮らしを支える環境づくり」「健全な心身を育み、活力を生む生涯スポーツの推進」「互いの力を高め合う競技スポーツの振興」を達成するため、各事業をさらに充実させていく必要がある。 また、市の一体性確立の一助となるよう、旧町村で行っているスポーツイベントを今後財源も含めて地域組織に委ねていく。 体育協会については、平成23年度から各支部を廃止し、新たに地域団体として加盟することとした。 平成24年度に体育協会及びスポーツ少年団等の事務局の自立化を目指してきたが、安定的に継続的な活動を行うことはこれまでの調査の結果困難であることが判明したため、当分の間、現行どおりスポーツ振興課において事務を行うこととした。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード			考えられる基本施策指標候補				優先順位
スポーツ人口の拡大			スポーツ・レクリエーション施設利用者数				1
			スポーツ指導者数				2
			総合型地域スポーツクラブ参加者数				3

基本施策指標名	単 位	過年度実績	評価年度		目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H21	H22	H23	H25		
1 スポーツ・レクリエーション 施設利用者数	目 標	%	270,400	275,000	280,000	282,000		市のスポーツ施設利用者数 ※22年度は大きな対外的大会が開催されたため急増した。
	実 績	人	260,451	322,260				
	達成率	%	#REF!	119.2				
2 スポーツ指導者数	目 標	人	565	565	570	579		体育指導委員、スポーツ指導者、日本体育協会公認指導員、スポーツ少年団指導者、レクリエーション指導者の合計数
	実 績	人	527	542				
	達成率	%	#DIV/0!	95.9				
3 総合型地域スポーツクラ ブ数	目 標	クラブ	10	10	10	10		平成21年度までに結成されたクラブ 数
	実 績	クラブ	9	9				
	達成率	%	#DIV/0!	90.0				
	目 標							
	実 績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				